

令和6年度 音楽科《第2学年》年間指導計画

担当（ 小林 みのり ）

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
 (2) 音楽表現を創意工夫をすることや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

第2学年の目標

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 (3) 主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	教材名	評価規準	評価資料
4	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	「夢の世界を」「翼をください」	【知】 ・創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 【思】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 【態】 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/C 【思】 A/C 【態】 A/B
5	楽器の基本的な奏法を理解して演奏しよう	リコーダー「喜びの歌」「かっこう」	【知】 ・演奏するために必要な姿勢や構え方、息の使い方などの技能を身につけている。 【思】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい演奏表現を創意工夫している。 【態】 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/B/C/D 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	鑑賞「交響曲第5番 ハ短調」 鑑賞「フーガ ト短調」	【知】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【態】 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/B/C 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
6	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	「夏の思い出」 「サンタルチア」	【知】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【態】 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【知】 A/C 【思】 A 【態】 A/B

7~10	声部の役割や全体の響きに気を付けながら、音楽表現を工夫しよう	課題曲「時の旅人」 クラスの自由曲	【知】 【思】 【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 	【知】 A/B/C/D 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
11 ~ 12	歌唱「荒城の月」	雰囲気を味わいながら表現を工夫して歌おう	【知】 【思】 【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫を生かした表現で歌うための必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 	【知】 A/B/C 【思】 A/B/C 【態】 A/B/C
	総合芸術の魅力を味わおう	「アイダ」 歌舞伎「勸進帳」	【知】 【思】 【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	【知】 A/D 【思】 A/C 【態】 A/B
1~2	能「敦盛」	能に親しみその音楽を味わおう	【知】 【思】 【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能の特徴とその背景となる文化、歴史との関連、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・ 音色、リズム、速度、旋律を知覚しそれらの働きが生み出す特質や、雰囲気を感じている。 	【知】 A/D 【思】 A 【態】 A/B
2~3	卒業式に向けて心を合わせて歌おう	卒業式で在校生として歌う教材	【知】 【思】 【態】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・ 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・ 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	【知】 A/C 【思】 A 【態】 A/B